■ 写真展『北上川五大ダムのあゆみ』

北上川五大ダムの歴史と役割を、写真とパネルで紹介

開催目的

北上川五大ダムの建設と発展の歴史を写真でたどり、流域の発展を支えてきた先人たちの歩みと、五大ダムが果たしてきた役割を紹介。これからの水防災について考えていただくことを目的に開催しました。

開催概要

期間：令和8年7月31日（金）～8月28日（金）
時間：9:00～17:00　※月曜休館／最終日14時終了
会場：北上川学習交流館 あいぽーと（岩手県一関市）
主催：東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
協力：一般社団法人東北建設マネジメント技術協会
展示：五大ダム所蔵写真 約100点・関連パネル



▲ 展示を楽しむ来場者たち

岩手日報



岩手日報　令和８年８月２２日（土）　１３面

一関

北上川治水 理解深めて
28日まで五大ダム写真展

一関市狐禅寺（守町）の田園風景を、緊迫した用地交渉の様子などを紹介する。

最新の胆沢ダム（2011年完成）は、ダム完成に伴い水没した旧石割ダム（1953年完成）とのツーショットを展示、御朱印が始まった「関連水地」と、7月に使用開始された五大ダムを模した今昔関係作し、各ダム（田瀬、湯田、四十四田、御所、胆沢）の建設前後の様子などを約100点の写真で紹介している。

最も古い田瀬ダム（1941年完成）のコーナーで、同事務所の小笠原隆一専門官は「懐かしい古田の写真も多く、親子で訪れて地域の歴史や流域治水への理解を深めてほしい」と話す。

午前9時～午後5時、月曜休館。入場無料。

ダム建設前の懐かしい写真もそろった北上川五大ダムの写真展

▲ 令和8年8月22日（土）掲載



▲ 建設当時の写真に見入る子ども



▲ 洪水資料を見る来場者



▲ ダム模型・技術資料の展示



▲ 会場全体の展示状況

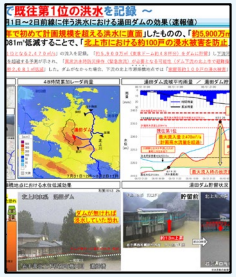


▲ 運営スタッフ

湯田ダムの洪水時の効果（速報値）

・約5,900万m³を貯留
・下流流量を最大毎秒2,081m³低減
・北上市で約100戸の浸水被害を防止したと推定

※数値等は速報値



写真展を通じて

昔の建設写真から現在のダムの役割、洪水時の効果等を紹介し、北上川の治水や水防災について理解を深めていただく機会となりました。

北上川の強さを、未来の安全・安心へ

